

《質疑応答》

【ブランド復活に向けた地域間交流施設（金桁温泉）の整備】

問 （報道資料に）「130年の歴史を誇る」と書いてありますが、これまでの金桁温泉の歴史とか、その後の簡単な経緯とか、そのあたりをお伺いしたいと思います。

答 はい。金桁温泉は炭酸泉でございまして、明治14年に鉱泉浴場として開業し、昭和初期では3軒の旅館、湯治（とうじ）木賃宿（きちんやど）もあり、日帰り入湯（にゅうとう）や湯治（とうじ）客で賑わっておりました。

その後、昭和51年に「三角老人福祉センター」が建設され、集会室をはじめ、男女大浴場、ゲートボール場が併設され、地域住民の憩いの場として利用されてきましたが、平成27年度の設備の故障により、温泉施設は使用されておられません。水回り設備その他が大変傷んだためでございます。

新たに建設する金桁温泉は、これまでの老人福祉センターとしてではなく、地域間交流の役割を担いつつ、地域住民の健康や憩い・癒しの場としての活用を図ることを目的として整備いたします。

問 完成後の入館者の見込み数を教えてください。それから、この施設のもう少し具体的な設備とかを補足で説明いただければと思います。よろしく願いします。

答 今までの老人福祉センターは月500人くらいの利用でございましたが、今回新設する施設では1日100人、年間30,000人を予定しています。

それと、施設の設備については（報道資料に）ありませんでしたか。

問 施設の中身といいますか、例えば男女別の何人くらい入れる風呂があるとか、集会所があるとかないとか、そのあたりを教えてください。

答 男女別々15人程度が一緒に入れるくらいのお風呂を予定しています。

（三角支所経済課長）建物の概要については、床面積が280㎡でして、脱衣所が男女各15人、洗面台が男女各3台、洗い場が男女各4台、浴室が男女各15人、休憩室として40㎡、畳で言いますと24畳と見込んでいます。また、足湯が2カ所、ということで計画を進めています。

問 露天風呂みたいなのはあるのでしょうか。

答 露天風呂はありません。

問 これは、予算措置はもうされているのでしょうか。

答 (企画部長) 30年度の予算で工事費1億円を計上させていただいています。まだ、議会で承認はされていませんけれども、今議会に提案しています。

問 総事業費も1億円と考えてよろしいのでしょうか。

答 (企画部長) 総事業費と言いますと、設計費用ですとか工事の監理費用なども発生します。大体、総事業費としては現在のところ1億3千万円ほどと見込んでおります。

問 この施設内に、観光をPRする施設だったり食堂だったり、そういったものを併設する予定というのはございますか。

答 (企画部長) 今のところ、食堂を設置する予定はございません。ただし、イメージ図をご覧くださいとおり、今の棟の横に少しスペースを設けておりますので、将来人気が出て、お客様が再び来られるようであれば、そこに宿泊型のハウス等、そういった多目的に利用できるよう、拡張性を持たせています。

答 露天風呂も含めて、段階的に備えます。

#### 【災害公営住宅の入居開始時期について】

問 災害公営住宅の件で、今建設を始めている豊野と不知火もそうでしたかね、一番早く入居開始になるのは、今日の時点で見込みはどのくらいになっているのかということと、期日、何月何日頃予定なのかということと、あと入居募集の受付開始というのは、これが4月ですかね。これは、今までは出ていなかった話でしてでしょうか。今日の発表をもって4月というふうにしていただけ確認したいのですけれども。

答 最初に入居できる団地は、不知火町御領地区で本年10月を予定しています。詳細につきましては土木部長お願いします。

答 (土木部長) 市長が申し上げたとおり、不知火御領の10戸の入居が一番早く10月になります。そして、入居の申請受付が一番早いところで4～5月を

予定しています。

問 4月の入居募集開始というのは、もう既に発表している話でしょうか。

答 (土木部長) いや、まだです。今後、広報や仮設住宅に入居されている方へお配りしますし、広報とホームページを活用して、募集していきたいと思っています。

司会 公には、今日発表した、ということでよろしいですか。

答 (土木部長) はい、そうです。

#### 【「さしより野菜・たっぷり野菜」事業の取組①】

問 3月からスタートします、ということですが、3月からまず始められる取組の内容というのを、具体的に教えてもらってもよろしいでしょうか。

答 (健康づくり推進課長) 3月から、広報と啓発を重点的に行いまして、4月もさしより野菜の協力店舗等と推進の啓発等に努めていきたいと思っています。

問 本格的なキャンペーンというのは8月にあるという理解でよろしいでしょうか。

答 まだ、予算を取ってからです。予算を議会に上程させていただいています。

問 「うきうきベジスポット」に認定されれば、どんなメリットがあるのでしょうか。

答 (健康づくり推進課長) 登録店舗につきましては、市ホームページ、広報紙等により協力店舗をPRしながら進めてまいりたいと思っています。

答 まだ、本格的な予算を取っていませんので、まだ具体的にとまでは至っておりません。

## 【「2018宇城市フラワーフェスタ」の開催】

問 以前は岡岳公園で開かれていたと思うのですが、これは今年から多目的広場で開催されるようになったということでしょうか。その辺をお願いします。

答 そのとおり以前は岡岳公園でやっております、地震によって傾斜地が崩れて使えませんでしたので、去年は宇城市役所の北側駐車場で行いました。今後は、駐車場の確保がありますので、県の多目的広場をメイン会場にして、市役所と県の地域振興局を駐車場として使った方が、より便利ではないかということで、今回は多目的グラウンドで行います。

## 【三角西港内飲食店における経営者公募の結果】

問 三角海運倉庫のレストランですが、こちら4月1日から予定通り開業できる見込みなのかどうなのかと、桜屋がどんな店舗を考えてらっしゃるのかを教えてくださいと思います。併せて、浦島屋の方は応募者がなかったということで、今後の用途について市としての考えがあれば教えてください。

答 (企画部長) 4月から開業できるかという点ですが、昨年12月にプロポーザルを行いまして、桜屋さんを決定したということで、現在営業されている方と話し合いを進めています。

3月31日までの許可を出して営業されておりますけども、現在、不満を主張されておまして、協議中でございます。できるだけ4月1日からの開業と考えていますが、無理だと思います。

桜屋さんとも話をさせていただきましたが、まず色々な準備をしなければならぬということで、もしスムーズにいけば連休前に開業だろうと思います。桜屋さんとも現在の運営者とも今協議をしております。

また、桜屋さんのレストランのメニューですが、特徴としましては、ご存じかもしれませんが、馬刺しを扱っておられますので、レストランと共に熊本名産の馬刺しも店頭で販売したいと。それともう一つ、これまでの現和蘭館では団体客の受け入れが難しかったのですが、今回桜屋さんは、ぜひとも団体客を受け入れるような体制を整えたいという話をされており、そのような内容で提案されています。

また、浦島屋の件ですが、これも昨年から募集をいたしました。第1次募集で応募がなかったものですから、再度要項を見直しまして、再募集を今年に入りまして1月の中旬から3週間くらい第2次募集を行いました。それでも提案者がございませんでしたので、今後は、県と協議の上、地域振興のためにど

んな活用ができるかを含めて協議していきたいと思っております。

答 「和蘭館」につきましては、1年半ほど前からプロポーザルにする旨は現在の運営者にもお伝えし、1年前には文書をもってプロポーザルで既存の契約は3月31日までです、とお伝えしています。そして、今回、去年の10月11月のプロポーザルでは、その現在の運営者も入られて、プロポーザルで3者の中に入られています。そして、厳正なる審査の中で今回桜屋さんに決定したところです。その決定で現在の運営者が外れたのを不服に思われて、現在のところなかなか厳しい交渉が続いています。

問 先程の桜屋さんのことですが、決め手の一つが、団体客の受け入れができるということでした。これまで団体客の受け入れができなかったことが、桜屋はできます、という話でしょうか。

答 （企画部長）それが決め手で決まったわけじゃなくて、厳正な審査員の評価で決定されておりますので。ただ、特徴として今回は団体客の受け入れを考えたいということで、団体客の受け入れることをもって決定されたという経緯ではありません。

問 その要素の一つということだと思いますけども、団体客というのはインバウンドの受け入れとか、そういうのを含めたことなのでしょうか。

答 （企画部長）まあ、直接は関係ありませんが、今、三角地区で「三角地区マーケティング委員会」というものが立ち上がりまして、地方創生の一環で観光振興を進めているわけですが、この中で来訪者に対して色々なアンケートをとったり、バスの来訪者の調査を実施しましたところ、団体客が、なかなか食べる場所がない、という調査結果が出ておりまして、やはりそこまで受け入れる機能をといったところが、今後の西港の賑わいにもつながるのではないかと、お客様へのおもてなし向上にもつながるのではないかと考えています。

## 【「さしより野菜・たっぷり野菜」事業の取組②】

問 さしより野菜の件ですが、宇城市民の野菜を食べる量が県平均を大きく下回ることが分かったと書いていますが、具体的に何番とかワースト1とか2とか、どのくらい平均と比べて少ないのかとか、何でそういうふうに宇城市民が野菜を今まで食べなかったのかとか、そのへんの分析ができていれば教え

てください。

答 （健康づくり推進課長）この調査は、本年度に熊本県が「健康・食生活に関する調査」を実施されておりまして、県下 27 市町村で 4,500 人を対象に無作為抽出の結果でございまして、国が推奨しています 350 グラム、それを基本としまして 1 日どれくらい食べているか、アンケートされています。

回収率は 47.1%ですが、宇城市の場合、全体的な平均に比べまして国が推奨する 350 グラムを摂取している率が、報道資料にも書いてあるとおりに低かったということで、1.4%です。宇城地域の基幹産業は農業ですが、量からして少ないとの調査報告が出たところでございます。

なお、野菜の熊本県の平均摂取量が男性 266g、女性 255g、となっています。

問 すみません。もう 1 回よろしいでしょうか。

答 県全体では男性 266g、女性 255g ですが、宇城市の平均摂取量は何グラムかというデータはありません。そのアンケートで 1 日 350g 以上の野菜を摂ったのは熊本県平均が 3.8%のとき、宇城市が 1.4%、という数値から出しております。

また、なぜ「さしより野菜」なのか、ということに関しましては、例えば、みそ汁の塩分を抑えましょうとかあるのですが、やはり塩分を抑えましょうとか何とかしましょうとか、そういう啓発はなかなか難しい点があります。

そういった中で、NHKでも取り上げられた、東京都足立区がこの野菜の摂取である程度のいい数字が出てきており、お店もどんどん巻き込みながら足立区民の方々も巻き込んで、まずは野菜から食べましょう、そうすることで急激な糖の吸収が抑えられるようです。これは、啓発ももちろんですけども、具体的な活動が目に見える形でできるし、我々としても目に見える形で市民の方々に訴えられることができ、実質上の効果が上がっていく方策ではないかと思っています。

東京都足立区でも成果が上がっていますので、この「さしより野菜」を市民の方々に、まず最初に食事の時に野菜を、より多く摂っていただくといった活動を始めようと思ったところです。

問 ありがとうございます。

（平岡教育長に対する質疑応答）

問 ウイングまつばせの大規模改修が必要な理由とかを簡単に教えてもらえれ

ばと思います。

答 （教育部次長）ウイングまつばせにつきましては、建築後、かなりの年数が経っております。そして、大規模改修を予定していたところですが、そのような中、熊本地震が発生しましたので、壁とか天井等にかかなりのクラック、ひび割れ等が生じているところですが、今回のようなところを災害復旧工事を実施したところですが、施設のステージ等の機材等も経年、かなり経っておりますので、そのようなものも含めて今回大規模改修の工事を行うこととしたところですが、

答 （市長）もうできあがって20年以上で、そろそろ機材からその他、改修をしなければならぬ時期であり、また予定もしていたところですが、その中で熊本地震でかなり傷んでしまったという中での、今回の大規模改修でございます。

問 松橋中学校の卒業式ですが、被災して2年ぶりに体育館で卒業できるということで、できれば取材したいなと思っているのですが、それは可能でしょうか。

答 ぜひよろしく申し上げます。

問 去年は駄目だったので。

答 よろしく申し上げます。

以上